

 この記事は会員限定です

## 川崎 脱炭素戦略の行方（下）住民の意識改革カギ 太陽光義務化や地域電力 モデル地区選び推進

2022年9月17日 1:49 [有料会員限定]

保存




川崎市が環境都市に生まれ変わるには京浜工業地帯の脱炭素化だけでなく、住民の意識改革が欠かせない。市は太陽光パネルの設置義務化やモデル地区をつくることで、住民の行動変容を促そうとしている。

### 来年度施行へ

川崎市は7月末、環境審議会の脱炭素部会を開き、市内で新築する住宅への太陽光発電設備の設置義務化に向けた素案を示した。設置義務化の方針を表明している東京都の制度案を参考に、規模が大きい建物だけでなく、...

[アプリで開く](#)

 この記事は会員限定です。登録すると続きをお読みいただけます。

残り1252文字